

6月14日から溝切り(江立て)を行い、水入れを止めて開始した中干しでしたが、例年では新潟の梅雨入り前半は、比較的日照りもあり梅雨とは思えない安定した日が続く圃場の表面には、乾燥で大小のひび割れが出来るのですが、今年の中干しを開始したころから毎日雨の日が続く圃場は乾燥するどころか、ぬかるんだ状態が続いています。しかし間もなく出穂の時期を迎えることから、圃場に追肥を行い、冠水を開始しました。

今月初めからの集中豪雨による九州、岐阜、長野等での、甚大な自然災害に見舞われた地域の皆様からみれば、天候不順で農作業が遅れるくらいは、仕方ないのではと思っています。

今年の畦のり草文字アートは「メグスリノキ肝太茶」です。草丈がまだ揃わないので??の文字有り



雨の日が多いことから、例年に比べ畦道の雑草の伸びが旺盛で、この時期としては4回目の除草をおこないました。除草用機械は自走式4台に肩掛け背負い式8台と機械は十分に揃っていますが、機械だけでは動いてくれませんので、最後は人力に頼るしかありません。汗を流した後の冷えたビールが楽しみです!!。

スパイダーモーターによる除草

ウイングモーターによる除草作業



追肥(穂肥)の作業も天候不順の影響で遅れていましたが、やっと雨のかんげきをぬって実行しました。この作業も以前は動噴霧器に15kgの肥料1袋をそのまま入れても、軽々と背負い実行できましたが、この頃は年のせいかわりに2回に分けて実行しています。2回目の穂肥は稲の生育状況を見ながら8月中旬に行う予定です。

定点観測(稲丈80cm)

動噴機による追肥(穂肥)の作業



左のミニシクラメンは我が家に来てから2年目ですが、HB-101を使用している性か1年中咲きつづけています??

定点観測箇所(稲丈)は約80cm、株本数も20~25本となり8月上旬には出穂が始まります。

発行者：〒944-0023 新潟県妙高市西条755
 妙高西条農園長 池田博子
 ☎ 0255-72-3497 fax 0255-72-2908
 URL : <http://www.kanta.jp> E-mail : ikeda@kanta.jp